

# 町政を問う!



藤本 浄孝 議員

## 米軍岩国基地艦載機移駐完了後の騒音増大について

**問** 在日米軍再編による岩国基地への空母艦載機部隊の移駐が三月末に完了し、米軍機の飛行運用状況の変化が顕著になった。日常生活でも騒音の増大を懸念する声が住民からも上がっており、「これほどうるさくなる」とは「こんなはずでは」という住民意見も多い現状であり、移駐の容認に賛同した議員としても責任を感じるところである。

午後11時を過ぎる騒音や、複数機による飛行もあり、明確に町民の日常生活に影響が出ている。移駐完了後の騒音増大について現状把握と対策について早

急に方針を明確にすることにより、町民の心情的不安を緩和していく事が重要である。艦載機移駐による住民負担をより細かい地域ごとに把握し、聞き取り調査などの詳細な情報収集を行う事が必要である。3月31日の移駐完了から2か月以上が経ち、防衛局のホームページにも騒音値が公表されているが、今後の騒音対策、安全対策、監視体制についての取り組みの方針について問う。

**答** 特に住民の皆さんが不安に思っている航空機騒音の問題であるが、3月31日に中四国防衛局から30日に空母艦載機の移駐が全て完了したことの連絡があった。移駐完了以後、騒音発生回数と騒音レベルは上昇しているところである。特に5月8日には終日にわたり、町内での航空機騒音がうるさかったことで不安の念を抱かれたことは承知している。騒音の発生は、日々の米軍機の運用によってその都度変わり、影響を受けるため運用等を一定期間継続して見ている必要がある。その測定結果を

踏まえて検証する必要がある。引き続き実態把握に努めて、問題があれば国に必要な対応を求め、また、騒音対策の実施に万全を期し、機体の点検などの安全対策や飛行経路に係る安全の向上を求め、可能な限り住民の方々への影響が最小限となるよう働きかける。

**問** 騒音による住民負担への理解を得るための交付金活用に関する情報公開や周知について伺う。『広報すおう大島』に再編交付金での事業実施が記載されているが、例えば福祉課発行の『子育てブック』などの町発行媒体にも福祉医療費一部負担金助成事業やちびっこ医療費助成、外国語活動推進の財源が再編交付金事業である事が発信されていれば、認知

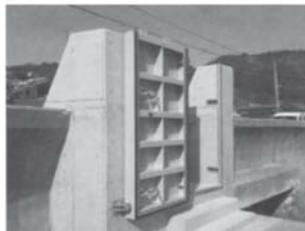
度が上がり、理解が深まる手段の一つとなると考えるが情報発信の方針を問う。

**答** 国から交付される再編交付金についても、対象となる関係者に積極的にお知らせすることにより、理解を深める一助となるよう取り組んでいく。

### 再編交付金で事業を実施しました

平成19年度から「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」第6条の規定により、在日米軍再編による住民生活の安全に及ぼす影響が増大する市町村に対し、公共施設の整備、住民生活の利便性向上や産業の振興に寄与する事業を対象に、国から再編交付金が交付されています。周防大島町には平成29年度に1億8,431万円が交付され、次の事業を実施しました。

- 防災に関する事業
  - ・ 漁港陸間整備事業（工事：油宇地区、雨振・両源田地区） 3,400万円
- 教育、スポーツおよび文化の振興に関する事業
  - ・ 周防大島町立小中学校空調設置事業（工事：三浦小学校、油田小学校 設計：沖浦小学校、東和中学校、大島中学校） 3,537万円
  - ・ 周防大島町観光振興事業助成事業基金積立 1,896万1千円
  - ・ 外国語活動推進事業基金積立 3,197万9千円
- 福祉の増進および医療の確保に関する事業
  - ・ 医療確保対策事業（地域医療の確保対策） 4,000万円
  - ・ 医療確保対策事業基金積立 2,400万円



▲ 漁港陸間整備事業（油宇）

▲ 広報すおう大島 平成30年4月号より抜粋